

# 一般質問通告書一覧表

平成 29 年 12 月 12 日招集  
第 14 回嘉手納町議会定例会

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	6 番 安森盛雄	<p>1. 基地司令官との協議会設置を</p> <p>2. 琉銀前の出入口付近と郵便局に入る出入口付近の道路の改良は</p> <p>3. 駐車場への入口の改良を</p> <p>4. 各イベントの障がい者への配慮を</p>	<p>(1) 岩国では基地司令官との協議会等を設置し、いろんな角度から基地について協議しているが、当町ではそのような協議会を持っているか。</p> <p>(2) 当町においても協議会を設置する考えはないか。見解を伺う。</p> <p>(1) 琉銀前の新町通り入口の道路の渋滞緩和と改良工事ができないか。</p> <p>(2) 郵便局通りの新町に抜ける渋滞緩和ができないか。</p> <p>(1) 嘉手納中学校近辺は多い時には大変渋滞する。雨降り等では特に前段で申し上げたとおり新町へ抜ける場合、または新町から郵便局通りに入る場合の混雑は大変危険を感じる。出会い頭の事故がないのが不幸中の幸いである。そこで次の点を伺う。</p> <p>①先生方の通勤時に駐車場へ行く道を校門前ではなく、裏側の給食配膳室側を改良して、そこから駐車場に行くことができないか。なぜなら、少しでも校門前の交通量を減らすためである。今後、当局で調査をして最前の方法を検討していただきたいが見解を伺う。</p> <p>(1) 11月17日(日曜日)嘉手納町ウォーキング大会に多くの町民が参加していた。盛大に実施されたと思うが、残念なことに参加者の中には聞くことも話すこともできない方もいて、最後の抽</p>	<p>町長 當山 宏</p> <p>教育長 比嘉秀勝</p>

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	6 番 安森盛雄	5. 観光協会 設立を問う	<p>選にどうやってわかるのか不思議であった。その方に手話通訳は来ないのかと聞くと、手当てがかかるから無理だよと諦めていた。もう少しその配慮が町当局にできないか見解を伺う。</p> <p>(1) 道の駅かでなの現状は。 (2) 週末市の現状は。 (3) 町観光協会の進捗状況を問う。</p>	町長 當山 宏  教育長 比嘉秀勝
2	1 番 仲村 一	<p>1. ごみ袋を問う</p> <p>2. 町道を問う</p> <p>3. 町有地を問う</p>	<p>多くの方からごみ袋を北谷・読谷のようにUパック式にできないかと要望がある。そこで以下の点について伺う。</p> <p>(1) 現在使っているごみ袋の仕入れ単価とUパック式に変えた時の仕入れ単価は。 (2) 変える予定はあるのか。</p> <p>(1) 本町の町道について未買収の土地は何か所あるのか。 (2) 町道 45 号線(旧 J A 新町支所通り町道 46 号線の一本東側の通り)に関して未買収の箇所がある。その場所に関し地主の管理ができてなく、私物が町道まではみ出しているのが現状で、多くの方からどうかしてほしいとの声が上がっている。買収の予定は。</p> <p>町が保有している町有地について、利用していない空地について、町民が購入を希望した場合、売ることにはできるのか。</p>	町長 當山 宏
3	4 番 宇榮原京一	1. 米軍嘉手納基地の騒音軽減を	<p>去る 11 月 2 日、嘉手納基地に米空軍の最新鋭ステルス戦闘機 F-35A10 機が 10 月の 2 機に続き飛来し、地元周辺住民の声を無視する形で計 12 機と兵員 300 人を半年間にわたり暫定配備を強行した。</p> <p>配備後 F-35A の訓練は、11 月 7 日早朝から一日中、離着陸を繰り返し行われ、これまでにない 107 デシベルを超える激しい騒音を周辺市街地に</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	4 番 宇榮原京一	<p>2. 高齢者への配食サービスの現状は</p> <p>3. 第 2 次嘉手納町土地利用基本計画を問う</p>	<p>まき散らし住民生活へ大きな影響が出ている。今後、ますます悪化する騒音増加の軽減を求め以下を問う。</p> <p>(1) 昨年と今年の苦情件数は。</p> <p>(2) F-35A 戦闘機の暫定配備の理由は。</p> <p>(3) 実際に主となる騒音の発生源は F-35A 戦闘機によるものか。</p> <p>(4) 訓練の分散化はできないのか。</p> <p>(5) 要請や抗議活動には限界があると思うが、三連協含めその後の展開は。</p> <p>本町は高齢者等が健康で自立した生活を送ることができるように福祉サービスの一環として「配食サービス」を実施している。高齢者の皆さんから喜ばれている事業である。さらに充実した配食サービス事業の展開を求め以下を問う。</p> <p>(1) 利用できる条件は。</p> <p>(2) 27 年度と 28 年度の利用された人数と実績は。</p> <p>(3) 栄養バランスを考えたメニュー構成は。</p> <p>(4) 利用者からサービスの向上に向け、改善を求める声はあるか。</p> <p>(5) アンケートなどを実施し、配食サービス改善に活かして行くことも重要と考えるが。</p> <p>(6) 対象者への周知は十分に行われているか。</p> <p>(7) 課題と今後の方針は。</p> <p>本町は町域の約 82 パーセントにのぼる膨大な面積が嘉手納飛行場や嘉手納弾薬庫地区として接収され、住民は残り約 18 パーセントのわずかな土地での生活を余儀なくされて今日に至っている。基地返還の見通しが立たない状況の中、本町のまちづくりを行うためには、既存市街地の有効活用が求められる。それぞれの地域特性を活かしながら良好な市街地形成を進めるために「第 2 次嘉手納町土地利用基本計画」が平成 26 年 7 月に策定された。これまでの進捗状況について以下を問う。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	4 番 宇榮原京一		<p>(1) 1次土地利用基本計画の実績をどのように評価しているか。</p> <p>(2) 計画策定から3年余が経過するが、計画の進展はどうなっているか。</p> <p>(3) 優先的土地の活用や年次計画など、目標とするものがあるのか。</p> <p>(4) 同計画に示された、仮称「まちづくり協議会」の動向は。</p> <p>(5) 町民にとって本町の土地利用計画の認識は少なく、関心も薄いと思われる。計画書策定においては時間をかけ、多くの方々の意見等も確認し集約されたと思うが、進捗状況など町民や関係者への周知はどのように行うのか。</p> <p>(6) 町内には県営団地南側の土地や嘉手納高校付近にも比較的大きな土地が未利用なままであるが、土地の有効活用を検討すべきではないか。</p>	町長 當山 宏
4	11 番 石嶺邦雄	<p>1. ごみ行政を問う</p> <p>2. 大型ビジョンの有効活用を</p>	<p>今回、隣接する「倉敷環境」の営業が停止したことにより、県内各地に大きな影響があると思うが、そこで伺う。</p> <p>(1) 今回の営業停止により、嘉手納町に何らかの影響はあるか。</p> <p>(2) 県より一部事務組合への説明があったと聞いているが、その中に比謝川行政事務組合も参加していたのか。また、その件に関して担当課として情報収集はしているか。</p> <p>(3) 今後は中部地域周辺への不法投棄が増えると想定されるが、嘉手納町としてはどのように取り組んでいくか。</p> <p>大型映像がひと際目を引くフルカラーLEDビジョン。最近では街頭でよく目にするようになってきている。わが町も設置はしたが、ほとんど同じ映像が流れており、町民からもどこか物足りなさを感じるとの声が聞こえてくる。もっと、いろんな利活用が可能かと思うが、そこで伺う。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	11 番 石嶺邦雄		<p>(1) 現在、映像の内容はどのようになっているか。 (開始・終了及びプロモーションビデオの時間)</p> <p>(2) 交付金の関係で企業広告は無理だと理解しているが、町内イベントの告知や事後報告なども積極的にアピールできないか。</p> <p>(3) 町民から誕生日、記念日、プロポーズなどをするのにホームページからメールで受け付けて(月に 1 組限定)、大型ビジョンを活用することはできないか。</p>	町長 當山 宏
5	14 番 田仲康榮	1. F-35 A 即時撤去、F-35 B 配備反対等町民大会の早期開催を	<p>今の嘉手納基地の運用実態はまさに常軌を逸する危険この上ない状況と言っても言いすぎではない。11月のF-35Aステルス戦闘機の12機配備と連日のF-15戦闘機との合同訓練による猛爆音の発生、岩国基地のF A-18機の飛来、第7艦隊空母「ロナルド・レーガン」艦載機のF A-18の大挙飛来、CH-53ヘリ、空母艦載機C-2輸送機の墜落など外来機飛来による危険極まりない軍事訓練の激化による事態が進行している。いつ何時、町民上空に墜落するかもしれない危険な実態に町民は大きな不安と恐怖におののいている。午前6時過ぎからの激しい戦闘機の発進による109.4デシベルの騒音値は町民に心疾患、脳神経疾患を発生させるものだ。断じて許せない。</p> <p>一方で米海兵隊のF-35B機が来年から嘉手納基地に26機配備する計画が11月25日判明している。まさに町民の生命、くらし、安全を無視する日米両政府、米軍の軍事優先の暴挙と言わざるを得ない。町民の反対の意思を明確にすべきで立ち上がる時だ。</p> <p>(1) 配備後のF-35A機の訓練の実態・騒音発生状況を明示せよ。</p> <p>(2) F-35A機の配備、F-35B機配備に対する対応と嘉手納基地の現状認識を伺う。(町長見解)</p> <p>(3) F-35A即時撤去、F-35B機配備反対等、町民大会の早期開催への取り組みを急げ。(現状の</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
5	14 番 田仲康榮	<p>2. 「若年性認知症」に対する本町の取り組み の取り組み 対応策は</p> <p>3. 認可保育園の入所基準、選定の改善を図れ</p>	<p>実態は町民大会の早期開催を求めている)</p> <p>厚生労働省の平成21年度の推計では若年性認知症患者は全国で約3万8千人、平均発症年齢は51.3歳となっている。現役世代を襲う病気であるため経済的不安や就労継続など不安定な悩みも多い。「居場所がなく家に閉じこもっている」など切実な問題を抱えている。高齢者の認知症対策が進む一方で、若年性認知症は社会保障サービスも受けにくい側面がある。県の2013年から14年の実態調査では、発症時に働いていた人の8割が「退職した」「解雇された」と答えており、深刻な状況もある。</p> <p>認知症の国家戦略「オレンジプラン」では若年性認知症に対する取り組みの強化がうたわれているが実態はこれからだ。企業就労、福祉的就労、仲間と共に働く場所づくりなど課題も多い。何よりも社会全体、地域、職場での理解を深めていくことが重要となっている。</p> <p>(1) 本町の実態はどうか。  (2) 仕事を続けるための支援策は。  (3) 専門のコーディネーターの配置は。  (4) 福祉就労など社会的居場所づくりを。  (5) 「オレンジプラン」は若年性認知症対策の強化をうたっているが、本町でのこれからの対応策は。</p> <p>認可保育園の入所選定で在籍している園児を新規申請の乳幼児と同列で再選考した結果、選定指標となる「基準点数」で在籍園児が継続入園できないで退所する状況が生まれて問題となっている。本町の実態は県内調査実態59人のうち、13人が継続入所できない園児がいることが報道で判明している。この件について厚労省は「安定的な保育環境を提供する観点から望ましいとはいえない」と見解を示し「保育の必要性の高い人を優</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
5	14 番 田仲康榮		<p>先させることは違法ではないが、一年ごとに再選考するのはやり過ぎだと感じる」と指摘している。また、専門家も「前年度の入所要件を満たしておけば、継続は認めるべきだ」としている。なぜ、本町で13人(県内一高い)出たのか。改善はできなかったのか。</p> <p>(1) 平成 29 年度継続入所できなかった園児(13人)への対応と現在どうなっているのか。</p> <p>(2) 入所選定の改善を図るべきと考えるが。</p>	町長 當山 宏
6	12 番 當山 均	<p>1. 県に対し「航空機騒音による健康への影響に関する調査」の再実施を求める提案</p> <p>2. 「基地使用協定の締結」実現に向け、町民向け学習会シンポジウムの開催を</p>	<p>沖縄県は嘉手納・普天間飛行場の航空機騒音が周辺住民に与える精神的・身体的影響について科学的に明らかにし、県民の平穏で快適な生活環境の保全と創造に寄与することを目的として、平成7年度から10年度にかけて(財)沖縄県公衆衛生協会に委託して両飛行場周辺住民への航空機騒音による健康影響に関する調査を実施した。</p> <p>調査内容は①騒音曝露の実態②生活の質・環境の質③幼児問題行動④学童の記憶力⑤自覚的健康感⑥住民健康診断データの分析⑦低体重児出生率⑧聴力影響など多岐にわたり、世界にも類例がないほど多方面から検討がなされ、調査件数も膨大なものであった。</p> <p>前回の調査から約20年が経過することから、県に対し悪臭被害の実態及び健康被害の項目も追加したうえで「航空機騒音による健康への影響に関する調査」の再実施を求めることを提案する。町長の見解を伺いたい。</p> <p>「嘉手納基地使用協定」は、平成17年10月に議会・自治会・婦人会・学校関係・PTAなど町内17団体で構成する町民会議を発足し、各団体が基地被害に関する要望を持ち寄り議論を重ね、騒音被害や飛行ルート、航空機からの臭気、深夜早朝の騒音などを規制する手作りの要望を集約したものである。協定案を作成し早10年が経過した。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
6	12 番 當山 均	3. 「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」に対する本町の取り組みに関し	<p>町民会議の構成団体においても多くの団体で役員改選があり、協定を作成した経緯、内容等について、きちんと継承されているとは言い難く、さらに町民に対しては広く周知されているとは言えないのが実態ではなかろうか。町民に周知徹底されていない協定案を、防衛省や外務省に要請してもインパクトに欠けるのではないか。</p> <p>については、「嘉手納基地使用協定の締結」実現に向けた機運を高めるためにも、協定を作成した経緯、内容等を再度学び合う機会として町民向け学習会・シンポジウムの開催を提案する。町の見解を伺いたい。</p> <p>県教育委員会では、学校・家庭・地域の連携協力による様々な取り組みを推進することにより社会全体の教育力を向上させ、地域の活性化を図るとともに子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進することを目的に掲げ、平成 23 年度より「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」として、各市町村において下記事業①～④の実施を推進している。(平成 29 年度上半期末実績)</p> <p>①地域学校協同本部(平成 28 年度までの名称「学校支援地域本部」)設置(21 市町村、77 本部、学校数 222 校)②家庭教育支援チーム(4 市町村)③放課後子ども教室(21 市町村、137 教室)④土曜日の教育支援体制等構築事業(4 市町村)</p> <p>地域学校協同本部については中部市町村では本町のみが未設置との情報があることから次の質問を行う。</p> <p>(1) まず、「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」に対する本町の取り組み状況は。</p> <p>(2) 地域学校協同本部を未設置の理由を伺いたい。</p> <p>(3) 今後の方針等について伺いたい。</p>	町長 當山 宏  教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
6	12 番 當山 均	4. 嘉手納高 校生徒会に よる読谷村 鳳バスの高 校への路線 新設を求め る陳情に関 し	<p>嘉手納高校生徒会が読谷村コミュニティーバス(鳳バス)の嘉手納高校への路線新設を求める陳情を提出し、読谷村議会は今年 9 月の定例会において全会一致で採択したが、村当局は民間バス会社や嘉手納町との協議が課題と指摘している。</p> <p>嘉手納高校全校生徒 667 人のうち、57 パーセントを占める 380 人が読谷村在住であり、そのうち約 100 人が送迎により通学しているとのことだが、近年、東区・中央区内でも朝の通学時間帯の交通量の増加は懸案事項であり、ひと時だが、雨天時の屋良小学校正門前道路の渋滞は深刻であるから屋良小学校前は通行しないルートにより嘉手納高校近くまで運行が望ましいと考える。次の質問を行う。</p> <p>(1) まず、この件に関して読谷村側から何らかの報告・相談・調整はあったか。</p> <p>(2) 読谷村側から鳳バスの嘉手納高校への路線新設に向けて相談・調整があった際の町の対応・見解を伺いたい。</p>	町長 當山 宏  教育長 比嘉秀勝
7	3 番 花城勝男	1. 自立支援 事業・子育 て支援事業 を問う	<p>(1) 生活保護世帯数とひとり親世帯数は。その世帯数から中学校と高校へ通っている生徒数と対象者の子育て支援の現状と課題を伺う。</p> <p>(2) 生活保護世帯とひとり親世帯の中学、高校生を対象に将来の社会的自立を促進する目的で、食育支援として料理教室の開催を提案する。</p> <p>(3) 2020 年を目指し、行政と地域と共に生活保護世帯とひとり親世帯の中学、高校生を対象に進学、就職の支援を目的に学習無料教室の設置と財源の調査研究を提案する。</p> <p>(4) 生活保護世帯とひとり親世帯の高校卒業予定者に対して就労自立の実現を図る目的で、資格支援として自動車運転教習所と協定を結び自動車運転免許の取得資金の(1 人あたり 33 万円助成)支援を提案する。</p> <p>(5) 生活保護世帯とひとり親世帯の子ども達の食</p>	町長 當山 宏  教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
7	3 番 花城勝男	2. 認知症総合支援事業を問う  3. 高齢者のスポーツ支援を問う	<p>生活の現状と課題を伺う。</p> <p>(6) 2020 年を目指し、行政と地域と共に生活保護世帯とひとり親世帯の子ども達を対象に健全育成と食事の提供を目的に、屋良地区、嘉手納地区、水釜地区 3 か所に子ども食堂の設置と財源の調査研究を提案する。</p> <p>(7) 11 月 16 日新聞記事で認可保育園の入所選定で、嘉手納町は 29 年度継続入所できなかった児童数が 13 人いたと掲載があった。その現状をどのように考えるかを伺う。(全県 59 人、嘉手納 13 人、構成比 22 パーセント)</p> <p>(8) 待機児童が 17 年 4 月現在 52 人である。29 年 11 月現在及び 30 年度保育所申込数と年齢別申込数は。30 年の待機児童の見通し人数と今後の解決策を伺う。</p> <p>(1) 嘉手納町認知症の現状と課題を伺う。 (2) 29 年度方針に認知症地域支援推進員の配置と認知症カフェの開催に取り組むとあるが、現在の進捗状況を伺う。 (3) 認知症の介護、予防を目的に嘉手納町に認知症専用介護施設の開設と財源の調査研究を提案する。</p> <p>(1) 高齢者に対するスポーツ支援(ゲートボール、グランドゴルフ)の現状と課題を伺う。 (2) 高齢者、町民の健康増進を目的にパークゴルフ場の設置と財源の調査研究を提案する。</p>	町長 當山 宏  教育長 比嘉秀勝
8	5 番 古謝友義	1. 道路を拡幅せよ	<p>町道 32 号(新町通り)からロータリー線へ道路幅が狭く混雑及び危険な状態である。またロータリーから新町通りへの左折の際も同様である。そこで以下を問う。</p> <p>(1) 海邦銀行側と琉球銀行側の歩道を削って車道を広くできないか。 (2) 町道を路線バスが通っているのは正常か。国</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
8	5 番 古謝友義	2. 泡盛まつりの存続を  3. 配水池を問う	<p>道側へ移転できないか。</p> <p>(3) (1)、(2)が可能になる場合、エイサーまつり等の町の行事がより充実してくると思う。新町通りに加え、沖縄銀行前からコザ信用金庫前までを交通規制できるし、エイサーのフィナーレが素晴らしくなると思うが見解を問う。</p> <p>(4) 町道 48 号と水釜・大木線が交差する十字路は混雑時に車両が交差点内に進入して来て青信号でも通れない状況が続いている。対策は取っているか。</p> <p>(5) 町道 48 号の西側、町営住宅に曲がる三叉路に墓があり交通に不便を来たしている。これまでの対策を問う。</p> <p>(6) また墓の前に駐車している車両があるが、取り締まりはしているか。</p> <p>11 月 10 日(金)に行われた泡盛まつりは町内外から多数の人が参加して盛大に行われた。しかし泡盛出店業者から来年の参加を見直す動きが出てきていると聞く。ビアフェスタと並び社交業組合の一大イベントである。10 年続いている町民にとってはなくてはならない行事となっていて、新聞にも取り上げられている。そこで以下を問う。</p> <p>(1) 今後も泡盛まつりは開催していくか。</p> <p>(2) 地域活性化イベントに町としてどのように関わっていくか。</p> <p>(3) 町民に対し最善のまつりにするためのアンケート調査等は実施したことはあるか。</p> <p>(1) 久得配水池の耐震補強は完了したか。</p> <p>(2) 企業局からの供給が停止した場合、10 日分しか蓄えがないが、新たな配水池の計画は進んでいるか。</p> <p>(3) 場所の選定は進んでいるか。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
9	8 番 新垣貴人	1. 道の駅か でなについ て  2. 予防接種 助成事業の 拡充につい て  3. コミュニ ティーバ ス・タクシ ーの導入に ついて	(1) 機能拡充事業実施設計業務の進捗状況は。 (2) 営利を伴うテナントの入居に関して県との調 整状況は。 (3) 大型バスの駐車場の区画を整備し観光事業者 専用の休憩所設置を。  (1) 町内におけるインフルエンザの罹患状況は。 (2) そのことにより、どのような影響が発生して いるか。 (3) 当該事業においてインフルエンザ予防接種注 射費用への助成拡充ができないか。  (1) 地域福祉交通アンケート調査の進捗状況は。 (2) 交通弱者への予約制によるコミュニティータ クシーの試験的運行を行っては。 (3) 読谷村と連携し嘉手納町まで鳳バスの路線延 伸を図っては。	町長 當山 宏
10	2 番 志喜屋孝也	1. 新町駐車 場の改善を 問う	新町第 2 駐車場出口の交通安全対策について問 う。出口付近の左右の塀で、幼児、低学年生徒の 通行が見えないと町民より相談があった。また隣 接した大型スーパーもあり、買い物カートを使用 する町民からも駐車場出口は出会い頭の事故に繋 がると指摘を受けた。現場検証をして料金支払い から出口まで流れからしても早急に対応が必要と 思う。また駐車場の看板についても、運転者から 歩行者が見えにくいため掲示板の移転等を含め 6 点を問う。 (1) 左右ブロック塀の把握と塀の高さは。 (2) ブロック塀をカラーフェンスへ交換できない か。 (3) 出口付近の駐車場看板把握とリニューアル予 定は。 (4) 夜間の照明点灯の告知は。 (5) 消灯してからの現場視察は行われたか。(何月 何日)	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
10	2 番 志喜屋孝也	<p>2. 観光案内所設置を問う</p> <p>3. レンタル自転車導入の予定は</p> <p>4. 新町通り八店会通りに無料Wi-Fiを</p>	<p>(6) 全体的に照らす予定は。</p> <p>観光案内所設置は町観光事業の目玉になり、観光客誘客へ必要な施設であると思う。そこで町の観光案内所に対する方向性を問う。</p> <p>(1) 観光案内所設置へのメリット・デメリットは。</p> <p>(2) 新町通り、八店通り会へ観光案内所設置の予定は。</p> <p>過去にレンタル自転車について一般質問が行われているが、町の観光ガイド育成事業も順調に展開していると思われるが、新町通りに観光客誘致事業として、早急にレンタル自転車導入ができないか伺う。拠点となる土地は新町第 2 駐車場に料金支払い機械設置のために、何も使用されていない車両 3 台分の空きスペースがある。そこでその空きスペースを活用してレンタル自転車置き場として整備して、さらに出口料金支払機械裏側の空きスペースに観光ガイド駐在所として整備活用することで、観光客誘致と新町通りの活性化となる企画であり、レンタル自転車で道の駅～屋良城跡～新町通り～比謝川遊歩道～漁港～新町通りへ観光客を集客し観光事業へ展開ができると思う。そこで 3 点伺う。</p> <p>(1) 空きスペースの把握と今後の活用は。</p> <p>(2) レンタル自転車導入のメリット・デメリットは。</p> <p>(3) レンタル自転車導入予定は。</p> <p>平成 27 年 10 月 1 日より、町は観光振興や町民の情報提供を目的に嘉手納町公衆無線 LAN (公衆 Wi-Fi) を 6 か所稼働させた。観光振興であるならば町の中心市街地で商店街もある新町通りも該当すると思われる。</p> <p>(1) 当時の設置委員に商店街関係者、商工会関係者は参加しているか。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
10	2 番 志喜屋孝也	5. 野國總管 商品券を問 う	(2) W i - F i 導入予定は。  町民の中には商品券の利用忘れがあると思う が、その対策について問う。 (1) 現在までの発行枚数と回収枚数は。 (2) これまで発行の商品券を換金する予定は。 (3) 換金できないのは法律上問題はないか。	町長 當山 宏
11	15 番 知念 隆	1. 道の駅リ ニューアル 事業につい て          2. ウォーキ ングポイン ト制度につ いて	本町の観光拠点ともいえる道の駅だが訪問客数 が多い反面、販売収入が低いなどの課題も多くあ る。リニューアルにより課題の解決が期待される が、以下の点について伺いたい。 (1) 28 年度の「道の駅」の収支について。(テナン ト収入と光熱費等) (2) リニューアル後の新たな店舗数と募集方法に ついて。 (3) 商工会等、関係機関(指定管理業者)に対する リニューアル事業の情報提供及び意見の集約は どのように行うか。 (4) 新規店舗は町外業者の応募も可能か。  ウォーキングは健康づくりに有効で誰でも手軽 に行える運動である。本町においても去った 11 月 19 日に町民ウォーキング大会が開催され、多くの 町民が家族連れで参加し町内を楽しく歩いた。全 国においても健康づくりのためにウォーキングを 奨励する自治体が増えている。横浜市ではウォー キングの歩数に応じて市民にポイントを付与する 「ウォーキングポイント制度」を実施している。 そこで次の点を伺う。 (1) 本町におけるウォーキング推進の取り組みに ついて。 (2) 健康づくりにおけるウォーキングの効果につ いての見解は。 (3) 本町においても町民の健康づくりに役立つ 「ウォーキングポイント制度」を実施してはど	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
11	15 番 知念 隆	3. 各種資格 取得費助成 制度について  4. 電動式生 ごみ処理機 について	<p>うか。</p> <p>平成 28 年 12 月議会の一般質問に対し、同制度については平成 27 年度国勢調査における失業率を踏まえて検討したいとの答弁であった。その後の見解について下記について伺いたい。</p> <p>(1) 本町における平成 27 年度の年代別失業率について。</p> <p>(2) 町民が就職に有利になる各種資格取得について資格取得費助成制度の創設ができないか。</p> <p>家庭から出る燃やせるごみの中に占める生ごみの割合はおよそ 2 割と言われている。生ごみを家庭で処理できれば、ごみの減量化にも繋がる。そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) これまでの電動式生ごみ処理機の購入助成件数の実績について。</p> <p>(2) 経済活性化対策として補助限度額を 5 万円に引き上げできないか。</p>	町長 當山 宏
12	7 番 奥間政秀	1. 「しまく とうば」の 普及・継承 を	<p>本年度も町文化協会主催のしまくとうば語やびら大会が開催され、児童部門、一般部門合わせて 8 組 12 名が出場し盛大に行われた。「しまくとうば」のさらなる継承・発展につなげるための今後の取り組みを伺う。</p> <p>(1) 県教育委員会からの奨励等は。</p> <p>(2) 各幼・小・中学校での取り組みは。</p> <p>(3) かでなの民話集を利用した副読本や絵本作成の進捗状況は。</p> <p>(4) かでなの民話集の語り手の音声の CD 化についての現況は。</p>	町長 當山 宏  教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
12	7 番 奥間政秀	<p>2. 町内の歩行者専用道路(グリーンベルト)の設置の現状と交通安全対策について</p> <p>3. 米軍車両の小学校通学路への進入に対する対策を</p>	<p>歩道と車道が区分されていない道路では、車道(車が通行できる範囲)と道路の両端にある路側帯(歩行者が通行でき車が通行できない範囲)から構成され、白い連続した区画線で、その境界を路面上に標示しており、グリーンベルトは、そのような道路においてドライバーが車道と路側帯を視覚的により明瞭に区分できるようにして、交通事故を防止することを目的として設置するもので、歩行者の多い歩車道が区分されていない道路においては、よく用いられている対策で本町においても近年多くの設置が進んでおり、町民の安全対策を積極的に講じている。そこで伺う。</p> <p>(1) 町内のグリーンベルト設置状況と今後の取り組みについて。</p> <p>(2) 町道 5 号線(屋良地区・栄光幼稚園から野球場に向けての道路)</p> <p>(3) 町道 4 号線(屋良小付近)のハンプ設置の効果は。</p> <p>(4) 町道 11 号線(第 2 保育所付近)へのハンプ設置の予定は。</p> <p>(5) 町道 48 号線(水釜・大木線付近)へのハンプ設置の予定は。</p> <p>(6) 町道 65 号線(第 3 保育所付近)へのハンプ設置の予定は。</p> <p>(7) 理立 2 号線の朝夕の交通渋滞の対策は。</p> <p>平成 29 年 4 月 19 日午前 7 時 20 分頃、米海兵隊所属の大型車両が嘉手納小学校正門前の町道に誤って進入した。議会としても何度も、意見書・抗議決議を可決し、厳重に抗議、再発防止の徹底を強く求めてきた。</p> <p>町としても、英語表記の立て看板を設置するなど工夫を重ねてきたにも拘わらず事件は、発生した。今後、進入に対する具体的な取り組みを伺いたい。</p>	<p>町長 當山 宏</p> <p>教育長 比嘉秀勝</p>

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
13	9 番 照屋唯和男	<p>1. 土地利用基本計画、公共施設等総合管理計画等から維持管理計画に至るまでの町の対策は</p> <p>2. 障害者優先調達推進方針は</p>	<p>(1) 公共施設の資産老朽化比率が何パーセントに達した時に建替計画に取り組むのか。また現段階で何件あるか。</p> <p>(2) 平成26年度からの多くの事業計画や基礎調査報告から今後予定する建て替えや整備事業を多く抱える担当課はどこになるか。</p> <p>(3) 多くの課題等が挙げられているが、その解決に至るためのノウハウが不足しているということはないか。現職員で十分対応できているか。施設老朽化の度合いや計画策定の基礎となるデータの把握はしっかりされているか。</p> <p>(4) 施設維持管理、建替、整備は建築、土木などの技術系職員が必要とされていると聞くが、計画策定に対し十分な技術系職員が配置されているか。一担当職員が多くの事業計画を抱え込んでいることはないか。公共施設管理計画や土地利用基本計画等が進められてきたが、計画書は策定されたが、どこからどのように手を付けてよいか判断ができず進展できず硬直状況にないか。</p> <p>(5) 密集市街地活性化事業や町の重点的な課題のある事業計画に対しては、副町長がトップリーダーとなり各部署から事業系構成メンバーを集めた対策本部的なプロジェクトチームで当たることはできないか。</p> <p>障害者優先調達推進法から年間発注計画書を作成し、毎年1回報告することが義務化されているということだが、嘉手納町ではどのような状況なのか。聞いたところ27年度中に策定すると言われていたが、嘉手納障害者優先調達の方針に基づいた調達とその中身はどのようなになっているか。</p>	<p>町長 當山 宏</p> <p>教育長 比嘉秀勝</p>

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
14	10 番 仲村渠兼栄	<p>1. 第 5 次嘉手納町総合計画を問う</p> <p>2. 東京五輪に向けた取り組みは</p> <p>3. 比謝川急斜面崩落現場の対応は</p> <p>4. 兼久海浜公園再整備事業を問う</p> <p>5. 嘉手納運動公園再整備計画の予定は</p>	<p>第 4 次総合計画・後期基本計画(H26～H30)が開されているが、平成 30 年度は第 4 次総合計画の最終年度で、これまでの前期基本計画の成果を踏まえ、課題など近年の社会動向、多様化に対応した施策に取り組んだ 9 年間と認識する。そこで 2 点伺う。</p> <p>(1) 最終年度の取り組みの進捗状況は(第 4 次)</p> <p>(2) 第 5 次町総合計画に向けたスケジュールは。</p> <p>過去に東京五輪について一般質問を行った。開催まで 1000 日を切ったが、大型ビジョンの活用など含めて、町の取り組みについて問う。</p> <p>(1) 1964 年開催の東京五輪に参加した聖火ランナーの把握は。その対応は。</p> <p>(2) 当時の記録などの保管は。</p> <p>(3) 大型ビジョン活用は。</p> <p>嘉手納漁港組合からマルチメディアセンターまでの急斜面に数か所崩落した現場があり、町の対応と方向性について伺う。</p> <p>(1) 崩落現場の把握は。</p> <p>(2) 住民からの問い合わせ等は。</p> <p>(3) 防御柵が貼られている箇所工事年月日は。</p> <p>(4) その対策は。</p> <p>(5) 対応できる国の予算項目は。</p> <p>(1) 全体の事業計画の進捗状況は。</p> <p>(2) 人工ビーチ建設の進捗状況は。</p> <p>(3) 人工ビーチ建設でのメリット・デメリット。</p> <p>私の 1 期目の公約でもある野球場リニューアル計画について、今年 3 番議員からも一般質問があった。野球場を利用し地元嘉手納高校野球部の 2 度の甲子園出場、嘉手納中学校軟式野球部の全国制覇など、地域のスポーツ振興と町の活性化が実証された。これまで野球場のリニューアル計画は</p>	<p>町長 當山 宏</p> <p>教育長 比嘉秀勝</p>

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
14	10 番 仲村渠兼栄		<p>ボールがフェンスを越える現況があり、補修工事を含めて問題視された経緯がある。さらに屋良東部地区の開発は地域バランスからしても少し遅れているような気がする。</p> <p>当山町長の 3 期目に向けた大型プロジェクトとして、嘉手納運動公園再整備計画について問う。</p> <p>(1) 野球場に人工芝を導入して、建替予定は。</p> <p>(2) 全天候野球場へ建替の予定は。 (埼玉西武ドーム型屋根)</p> <p>(3) サブグラウンドを現ドーム駐車場へ整備する予定は。(公式ソフトボール場の規格を適用する)</p> <p>(4) 現ドームの駐車場は陸上競技場東側芝生地帯へ移す予定は。</p> <p>(5) 陸上競技場入口からドームまでの間に外周道路を建設する予定は。(一方通行にする)</p> <p>(6) 運動公園駐車場出口を「おきさん」側へ整備の予定は。</p> <p>(7) 出口には信号を設置する予定は。</p>	町長 當山 宏  教育長 比嘉秀勝
15	16 番 徳里直樹	1. ごみの減量化及びバイオマス事業への取り組みは	<p>(1) 本町はごみの減量化及び循環型社会形成を目的に草木リサイクル事業(チップ)や家庭用電気生ごみ処理機購入費一部補助事業等を推進している。これまでの取り組みについて問う。</p> <p>①事業の現状と成果は。</p> <p>②課題、将来展開は。</p> <p>③ごみ減量化に向けた町民への具体的な取り組みは。</p> <p>④美化センターとの連携は。</p> <p>(2) 平成 25 年 6 月定例会一般質問に本町の可燃ごみとして焼却処分されている家庭系厨芥類(食品残渣)を活用し「生ごみ堆肥化事業の導入」を提案した。</p> <p>「本町の雇用促進、経済活性化、将来の町おこし産業として調査研究する」との答弁に、これまでの取り組みを問う。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
15	16 番 德里直樹	2. 県外等派遣補助金の適正化を	<p>本町は社会教育事業推進の重点事項に各種スポーツ県外派遣費補助事業を推進し、選手や保護者に対する金銭的負担の軽減を図っている。</p> <p>これまでの取り組み、現状と課題について伺う。</p> <p>(1) 補助金交付要綱の概要は</p> <p>(2) 補助金交付要綱制定の審査及び決裁等の経緯は。</p> <p>(3) 補助金支払基準は公平か。</p> <p>(4) 町民からの要望と課題は。</p>	町長 當山 宏  教育長 比嘉秀勝